

# 文章題テスト・説明文(2)

日 月 名前

5  
問正解

★次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

花が、たくさん咲いている季節には、女王ばちは、一日に、一、五〇〇個ぐらいの卵を昼も夜も産みつけます。計算してみると、一分間に一個のはやさで産むのです。

一、五〇〇個の卵の重さは、女王ばちの体重(二〇〇―三〇〇ミリグラム)と同じぐらいになるといわれています。

不思議なことに、一日に、いくつ、卵を産むかは、女王ばちがきめるものではありません。外で働く働きばち、つまり、季節の変化を知っている働きばちがきめるのです。

「もうすぐ春が来るから、卵を産ませよう」  
「今、花ざかりだから、たくさん、卵を産ませよう」  
「つゆになりそうだ。あまり産ませてはいけない」  
「夏が近づいてきた。卵を産むのを止めさせよう」

きつとこんな話し合いが、働きばちのあいだでかわされるのでしよう。

□、女王ばちにつきそっている若い働きばちにつたえられます。

若い働きばちが、ローヤルゼリーを、多く食べさせると、女王ばちは、たくさん卵を産みます。少し食べさせると、少ししか、卵を産みません。

もし、花が咲いていない季節に、おおぜいの仲間が生まれてくると、みんないっしょに、うえ死にしてしまうことを、みつばちは知っています。

私たち人間が、平和な生活を続けていくためには、食べ物と、人口との関係を、もっと、もっと、みつばちに教えてもらわねばなりません。

(大村 光良「みつばちの家族は50000びき」文研出版による)

(注) つゆ…夏の前の雨がふり続く季節

ローヤルゼリー…女王ばちが食べる栄養に富んだ食べ物

1 線のことをばを国語辞典で調べるとき、正しくひくことができる読み方はどれですか、ア〜エから選んで、記号に○をつけなさい。

- ア じょうおう    イ じょうおお    ウ じょおう    エ じょおお

2  に当てはまることばとしてもっともふさわしいものを、ア〜エから選んで、記号に○をつけなさい。

- ア もし    イ なぜなら    ウ そして    エ しかし

3 線「一日に、いくつ、卵を産むかは、女王ばちがきめるものではありません」とありますが、卵を産む数がどのようにきめられているのかを、次のようにまとめました。  
 ①、 ② に当てはまることばを、①は五字、②は三字で、それぞれ文中から書きぬきなさい。

卵を産む数は、外で働く働きばちが、 ① に合わせて決めています。  
 たとえば、花があまり咲いていない時期は、 ② が少ないので、仲間がうえ死にしないように、卵を産む数をせいげんします。

①

②

4 この文章の内容として当てはまらないものを、ア〜エから一つ選んで、記号に○をつけなさい。

- ア 花ざかりの季節には、女王ばちは、一日中卵を産み続ける。  
 イ 女王ばちは、夏が近づくにつれて、産む卵の数をふやしていく。  
 ウ 若い働きばちは、女王ばちにつきそって、食事の世話をする。  
 エ 人間は、みつばちから平和な生活について学ぶべきである。